



# わらしべの里通信



## 心に太陽のような思い出と経験を残した雨の土曜日



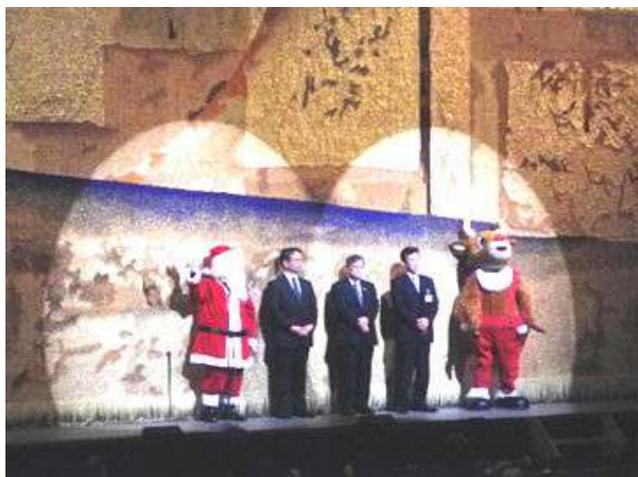
日産労連主催クリスマスチャリティー公演、カルフルとちぎ2011同日開催

11月19日は、日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」主催クリスマスチャリティー公演の抽選に当選したので、宇都宮文化会館で観劇して来ました。

公演は、劇団四季による「はだかの王様」。世界一たくさん洋服を持っていて、それでももっと欲しい。そんな王様に目をつけたのがデザイナーのスリップとスリッパ。王女サテンの婚約式に王様が着る衣裳をつくりたい、とお城にのりこんできます。王様は大喜びで注文してしまいます。その注文で、王様は見えもしない衣裳を身にまとうことに。本当のことを言う勇氣の大切さと、周りの言葉に流されることなく、自分自身の姿を冷静に見る大切さをたのしく、わかりやすく描いていました。

ある仲間は、「劇団四季のみなさんのダンスや演技がとてもすごかったです。ライトの色が何度も変わったので、少し目が痛くなりましたが、楽しかったです」と話していました。

公演を見た仲間には上演前響き渡った「幕を開ける歌」が印象深く、帰り、雨の中駐車場に向かう間、「ようこそ皆さんやあこんには楽しい芝居はいつだって心にかれない夢を咲かせる皆の舞台だ手



クリスマスチャリティー公演 公演前のセレモニー

を叩いて幕をあげよう ライトに音楽 用意はいいか 道具も衣裳も支度はいいぞ 手を叩いて手を叩いて 幕をあげよう」と歌い、寒さを吹き飛ばしていました。

歌う仲間をどう数えても、いつもより少ない・・・お休みだったり、とちぎ福祉プラザで開催されていた栃木県障害者文化祭(カルフルとちぎ2011こころのつどい)に、出張販売していたからです。

雨の中、プラザにもたくさんの方が来て、さをり織り製品を中心に売っていました。カラオケ大会で、「なごり雪」を歌った仲間は、「気持ちよく、歌いました」と、笑顔でした。雨が降って、寒い土曜日は、心に太陽のような思い出と経験を残してくれました。(混む)

### 11月～1月の行事

18日	19日	16日	22日	28日	4日	20日
仲間の会	カルフルとちぎ日産労連クリスマス	仲間の会	クリスマス会	仕事納め	仕事始め	仲間の会
誕生会(1人)		誕生会(2人)	クリスマス会	新年の抱負を発表する会(みかんを食べながら)	誕生会(3人)	誕生会(3人)

### これからの行事予定

3日	17日	2日	16日	4月上旬	20日	11日	18日
節分まめまぎ	誕生会(3人)	ひな祭り	仲間の会	花見会	仲間の会	レクリエーション	仲間の会
			誕生会(2人)	4月の行事予定	誕生会(8人)	レクリエーション	誕生会(4人)

※月の第1金曜日は、レクリエーション、第3金曜日に、仲間の会・誕生会を、仲間の会主催で行います。





## 秋の日帰り旅行 はじめての工場見学



日帰り旅行 ランチを楽しむ仲間たち

10月21日（金）わらしべの家で働く仲間たちは日帰り旅行でした。行き先は小山市にある森永製菓小山工場です。当日は、曇りでしたが、ちょうどいい気温でした。今回の旅行は、はじめての工場見学だったので、わくわくしました。

旅行に行く前日に、仲間たちに行く前の感想を聞いてみました。ある仲間は、「めったに行けない森永お菓子工場や、みんなでいくホテルのレストランの料理、道の駅での買い物もどれも楽しみです」、「工場見学するのが楽しみ」、「当日の天気がよくないので心配です」と話していました。

当日になり、小山工場の駐車場に入る

## 「大きな工場だね」と感動した

と仲間たちは、車の窓から「大きな工場だね」と感動し、とても驚きました。工場に入ると、最初に、森永製菓が誕生した話やお菓子の種類などを20分間のビデオで簡単に紹介してくれました。その後、工場を見学するには、食べ物を扱っている工場なので工場の帽子を被り、スリッパに履き替えて、3つのグループに分かれて工場の案内係の指示に従い見学しました。衛生管理がきちんとされているなど感じました。2階まで行ける仲間たちは、2階も見学しました。仲間たちは、「いろんなおかしを作っているのがよくわかりました」とも勉強になりました。「お菓子工場の2階で色々な



道の駅思川で、1日の疲れを取る仲間たち

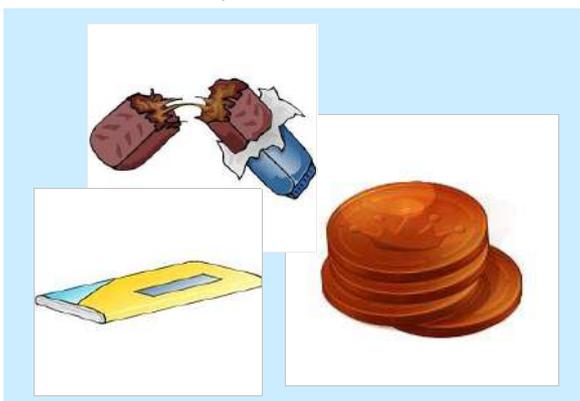
## 道の駅でゆったりした時間を過ごせた

お菓子が作られているビデオを見たのが楽しかった。2階からローラーで1階につながっていた、「コンベア」の上でお菓子が流れていた、「こういう所で働きたいな」と話していました。

見学が終わった後は、「和風ダイニング彩華」に移動して昼食を食べました。各テーブルに座ると豪華な和風の食事が出てみんな揃って食べました。仲間からは、「おいしかったです」、「うれしかった」と話していました。

帰りに、道の駅思川で新鮮なお土産を買ったり、アイスクリームを食べたりして、今日の1日の疲れをとりながらゆったりした時間を過ごせました。仲間たちは、「おみやげを買えることができてよかった」、「

「アイスクリームがおいしかったです」と話して、「おみやげを買えることができてよかった」、「



# ♠ 390人の笑顔、満開 スポーツ交流会 ♠



スポーツ交流会 すばやく、血を返していくぞ

10月6日（木）に栃木市障害者施設協議会主催で、スポーツ交流会が栃木市運動公園の体育館で開催され、市内の10ヶ所の通所施設に通っている利用者同士390人がスポーツを通して交流を深めました。今年で12回目の開催となりました。

開会式後「必殺！血返し」や、「玉入れ」、「綱引き」、「缶釣りの競争」などのほかに、鬼ごっこのように走っている人の背中につけられたかごに玉を入れる「玉入れC」が新しく入り、体育館はド迫力を体感するなど、8種目の競技（3回戦制）で秋の1日を楽しみました。

今年は、玉が籠に入れやすいよう

# ♣ 白組が200個の玉を入れる新記録が出た ♣

に床の上に置いて行なう「玉入れB」第1回戦で、白組が200個玉を入れるという新記録を出し、玉を数えた仲間、表情をゆがめながらも数えきり「200、数えるのはきつかったけど両チームともがんばっていたので、僕もがんばれました」と、息を整えながら、話していました。そのあとも、白組はわらしべの家が入った赤組を突き放していきました。

赤組は、「逆転優勝」を信じ、大きな声援を送り、仲間も「綱引き」、「缶釣り競争」などで応援に応え勝ち越しましたが、一歩及ばず。150点—120点の白組勝利となって解散となりました。



綱引きは、勝ち越すぞ

# ♥ 同じTシャツで参加 ひと目でわかった ♥



白熱した玉入れ

スポーツ交流会は、ただ競技をして、点数を競うのが目的ではありません。もうひとつの目的は交流です。参加施設の利用者全員と4時間で仲良くなるのは無理ですが、会場では競技の合間や、昼休みに学生時代からの友人、自分が以前通っていた施設の仲間を見つけては話し込む姿がみられました。「来年以降は各施設で、どんなことをやっているのか、PRタイムを設けてもいいのでは？」と話す仲間もいました。

わらしべの家は、交流会からロゴマークと法人名が入ったTシャツを新調しました。あざやかな緑色の生地に紺色の文字。仲間からは「どこかで活躍しているのが、ひと目でわかった」という声も聞かれました。（混む）



## 毎年の恒例行事 アイスを食べる会

仲間の会の行事で8月はアイスを食べる会と決めてから3年になり、恒例行事になりました。ただ、アイスを食べるだけではなく、食べる前に運動をしていい汗を流して、その後アイスを食べたほうがよりおいしく食べられるのではないかと思います。今回の会の会議でいろいろと決めました。アイスは棒とカップのどちらがいいか聞いて多数決でカップアイス、運動は、皆の意見がいくつが出たけれど、多数決でボウリングをやることに決定し、今回もオリジナルの仲間の会を開催することが出来ました。

8月5日、14時45分にチームを2つに分けてボウリングの対戦をしました。1人2回ずつ投げました。倒したピンをもとの位置に戻す係や、得点を記入する係も仲間たちで行い、自分の出番になると仲間と交換し協力しながらゲームを進めて行きました。ある仲間は、「倒れたピンを数える仲間と得点を記入する仲間の距離が離れているので、相手にうまく伝えられなかったり、聞き取りできなかったりして大変だったけれど、楽しむ事ができると話してくれまして、汗をかいた後は、皆で冷たく



みんなで冷たくて、あまいバニラアイス食べているよ



アイスを食べる前に、ボーリングでストライク連発だ

しいです。」と話していました。無事に、今年もアイスを食べる会を終了しました。（PORR）

### 第6期理事・監事決まる

9月10日（土）に、第31回評議員会ならびに第40回理事会が開催された。任期満了に伴う理事・監事の選任が議題にあがり、左記のとおり承認された。

記

- 理事 金坂直仁（理事長）
- 理事 本島一男（理事長職務代理者）
- 理事 橋本洋子（常務理事）
- 理事 渡邊全一
- 理事 小谷博
- 理事 大橋誠
- 監事 亀田幸夫
- 監事 片柳洋一

（敬称略）

※任期は、

平成23年10月1日～平成25年9月30日の2年間、法人ならびに「わらしべの家」の発展のために、ご協力をお願いします。



て、あまいバニラアイスを食べました。仲間は、「楽しくできてよかったです」、「今年もアイスを食べる前にボウリングをやってからアイスを食べました。毎年、仲間みんながアイススクリームを食べられて、うれ

## 社会福祉法人わらしべの里



『わらしべの里通信』第25号(通巻39号)  
 発行元 社会福祉法人わらしべの里  
 発行責任者 金坂 直仁  
 編集者 わらしべの家パソ工房  
 〒328-0011 栃木市大宮町2708-3  
 電話 0282-27-1627  
 Fax 0282-27-1675  
 E-mail warasi-nk@cc9.ne.jp (事務所)  
 http://www.cc9.ne.jp/~warashibenosato/

～編集後記～  
 新年、あけましておめでとう  
 ございます。  
 年が明けてから寒さが一段と  
 厳しい冷え込みとなり、春が待  
 ち遠しいです。  
 今年もパソ工房ではパソコン  
 を使って最新情報を伝え続けま  
 すので、わらしべの里通信、そ  
 してわらしべの家を本年もよろ  
 しくお願いいたします。  
 パソ工房では、ほかにホー  
 ムページ作成・名刺作成・封筒  
 印刷などを行っています。注文  
 をいただき大変ありがとうございます。注  
 文待ちしております。パソ工房に  
 できることは一生懸命にやっ  
 ていきたいと思っております。（範）